

健康 Q&A



教えていただきました

医学博士
古嶋 博司



Q.「たいじょうほうしん带状疱疹」について教えてください

带状疱疹とは、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。

初めてこのウイルスに感染したときは、水痘(水ぼうそう)として発症します。多くの場合、水痘は子どもの頃に発症し1週間程度で治りますが、治癒後もウイルスは体内の神経節に潜伏しています。その後、加齢やストレス、過労などが原因となってウイルスに対する免疫力が低下すると、神経節に潜伏していたウイルスが再活性化し、神経を伝わり皮膚に到達して、痛みを伴う赤い発疹を生じます。これが带状疱疹です。通常は生涯に一度しか発症しませんが、免疫が低下している場合には再発することもあります。

症状としては、数日～10日間ほど神経痛のような痛みがあり、その後、体の左右どちらか一方の神経に沿って(左右どちらか一方にしか症状が出ません)帯状に赤い発疹が出現するのが特徴です。顔面に起きる带状疱疹では、角膜炎や結膜炎を引き起こしたり、まれに耳鳴りや難聴、顔面神経麻痺などの合併症が出現することがあるので注意が必要です。

治療は、抗ウイルス薬が中心となります。なお、带状疱疹の発疹が治った後でも、ウイルスの攻撃によって神経に傷跡が残ってしまい、痛みだけが長い間残ることがあります。この症状は「带状疱疹後神経痛」と呼ばれ、高齢の方や、带状疱疹が重症であった方に起こりやすいといわれています。

50歳以上の方は、带状疱疹予防のためのワクチン接種が推奨されています。ワクチンには従来の生ワクチンと2018年から承認されている不活化ワクチンの2種類があります。不活化ワクチンの方が有効性が高いとされていますが、2回の接種が必要、費用が高い、副反応がやや強い、など一長一短があります。かかりつけ医ともよく相談して接種をご検討ください。

最近、新型コロナウイルス感染またはコロナワクチンが带状疱疹の発症に関係するという報告が散見されます。真意のほどはまだ不明ですが、コロナ禍を経験した今、带状疱疹予防について考えるときかもしれません。

内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目／内科・循環器内科
診療時間／月・火・木・金曜日 9:00～12:30、15:00～18:00
水・土曜日 9:00～12:30
休診日／日曜、祝日
所在地／中央区姥ヶ山5-6-20
電話／025-257-7070

ふるしまクリニック